

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	物流・産業	25年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 管理課長
施策名	産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成	成果	コスト			
事務事業名	西部地区(第1・2貯木場)埋立地の売却	延伸	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7922
目的	対象(誰・何を)	第1・2貯木場埋立地			事業 期間	平成20~27年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	平成27年度に分譲開始できるよう、公募などの準備を進めていきます。				
概要	第1・2貯木場の埋立地について、用地整備完了後、適切かつ速やかな処分手続を行います。				根拠 法令等	
26年度の実施予定	平成27年度に分譲開始を目標に準備を進めていきます。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連 シート	西部地区(第1貯木場)都市機能等 用地整備事業、西部地区(第2貯木 場)都市機能等用地整備事業

2 DO(実施)

26年度に実施した 内容・結果	情報収集に努め、分譲に向けた条件の整理を始めました。					
コスト	単位	24年度	25年度	26年度	事業開始からの合計	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	0	0	0	0	
人件費	千円	436	438	440	2,598	
合計	千円	436	438	440	2,598	

3 CHECK(検証)

指標名		24年度	25年度	26年度	最終目標	27	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
売却公募までの準備状況(全4工程) (進行管理型)	目標	-	-	1	4(累計)		指標名:売却公募までの準備状況(全4工程) ①情報収集 ②区画割り ③募集要項の作成 ④売却公募の実施	
	実績	1	1	1				
	事業進捗状況(平成26年度)			順調 やや遅れ・遅れ				
照会件数(件) (単年度管理型)	目標	-	-	-	-		企業からの問い合わせ件数	
	実績	21	36	69				
	事業進捗状況(平成26年度)			-				
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	分譲開始に向け順調に進捗しております。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	<input type="radio"/>	名古屋港の利用を促進する上で、不足する保管施設用地の拡充が必要であると考えて、基盤整備を行い売却準備を進めています。					
有効性	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="radio"/>						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	<input type="radio"/>	保管施設用地を売却することにより物流拠点の形成を促すと考えています。					
有効性	期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/>						
効率性	最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/>	準備作業量の増加に対しても、最小の人員で実施し、継続的なコスト削減に努めました。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	27年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	平成26年度まで土地需要等に関する情報収集を行い、27年度に、残りの3工程(区画割り、募集要項の作成、売却公募)を行う予定であるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			27年度以降の取組
平成27年度に分譲を開始するため、売却公募に向けた各種作業を進めていく必要があります。			引き続き、情報収集を行うとともに、区画割り、募集要項の作成、売却公募の実施作業を進めていきます。